



日本リウマチ友の会

『2020年リウマチ白書』

＜啓発編＞より

－リウマチ患者の実態－

 公益社団法人
日本リウマチ友の会



『2020年リウマチ白書』



「関節リウマチ」について

■ 関節リウマチ(以下リウマチ)は身近な病気です

リウマチ患者は70万人もいるといわれています

■ リウマチは専門医による初期の治療が大切です

早期診断、早期治療で日常生活が不自由になることを抑えられるようになりました

■ リウマチは個人差が大きい病気です

一人ひとりに合う治療法を見つけることが必要です

■ リウマチ治療の4本柱

・薬物治療 ・リハビリテーション

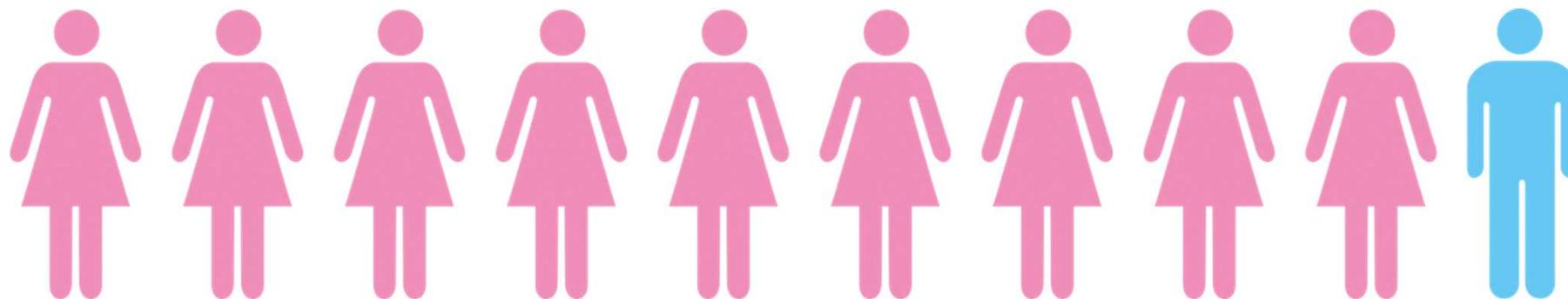
・外科的手術療法 ・基礎療法

■ リウマチは発病原因が不明で、治療法も確立されていませんが新薬も許可されて治療の幅が広がり寛解が治療目標になってきました

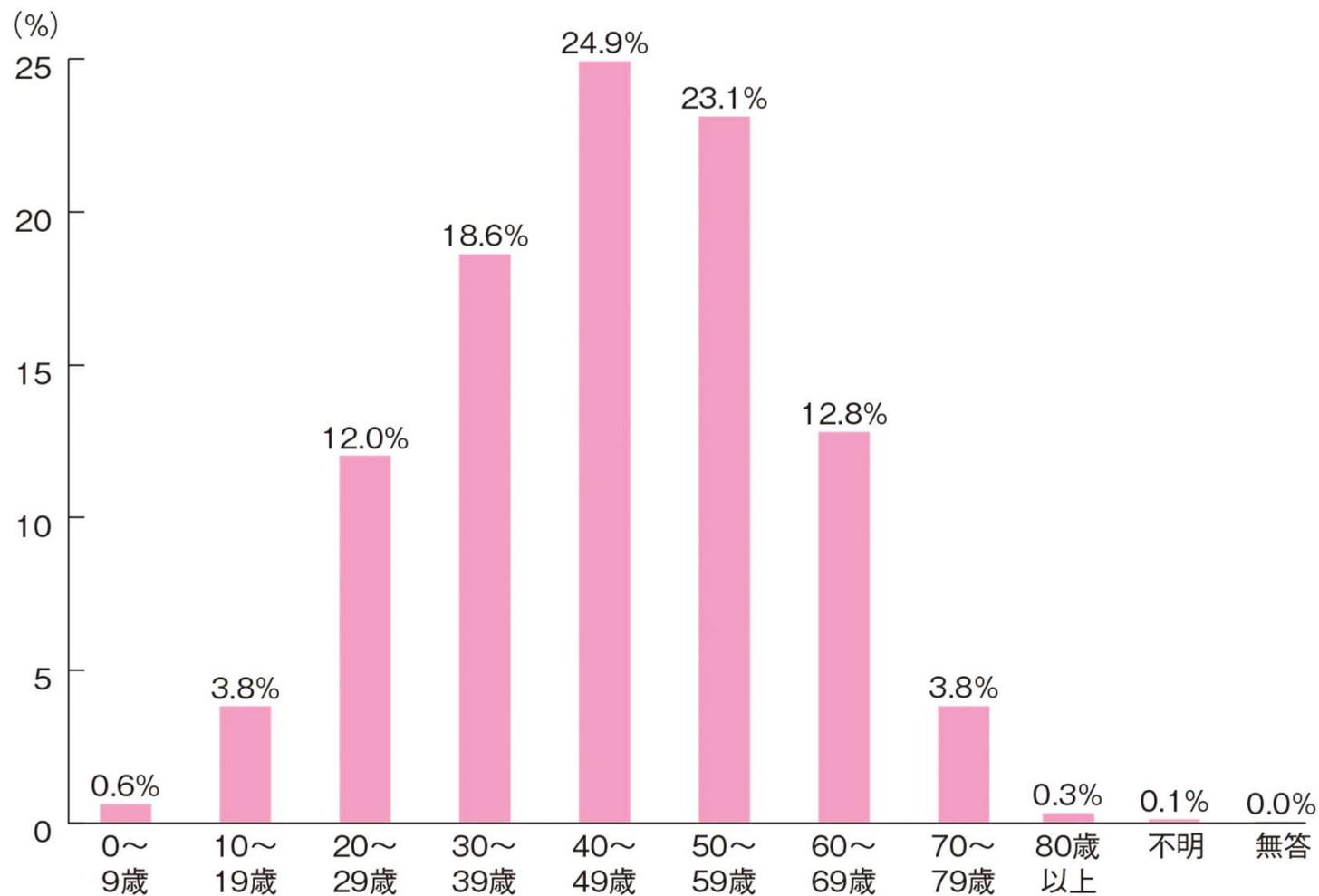


性別

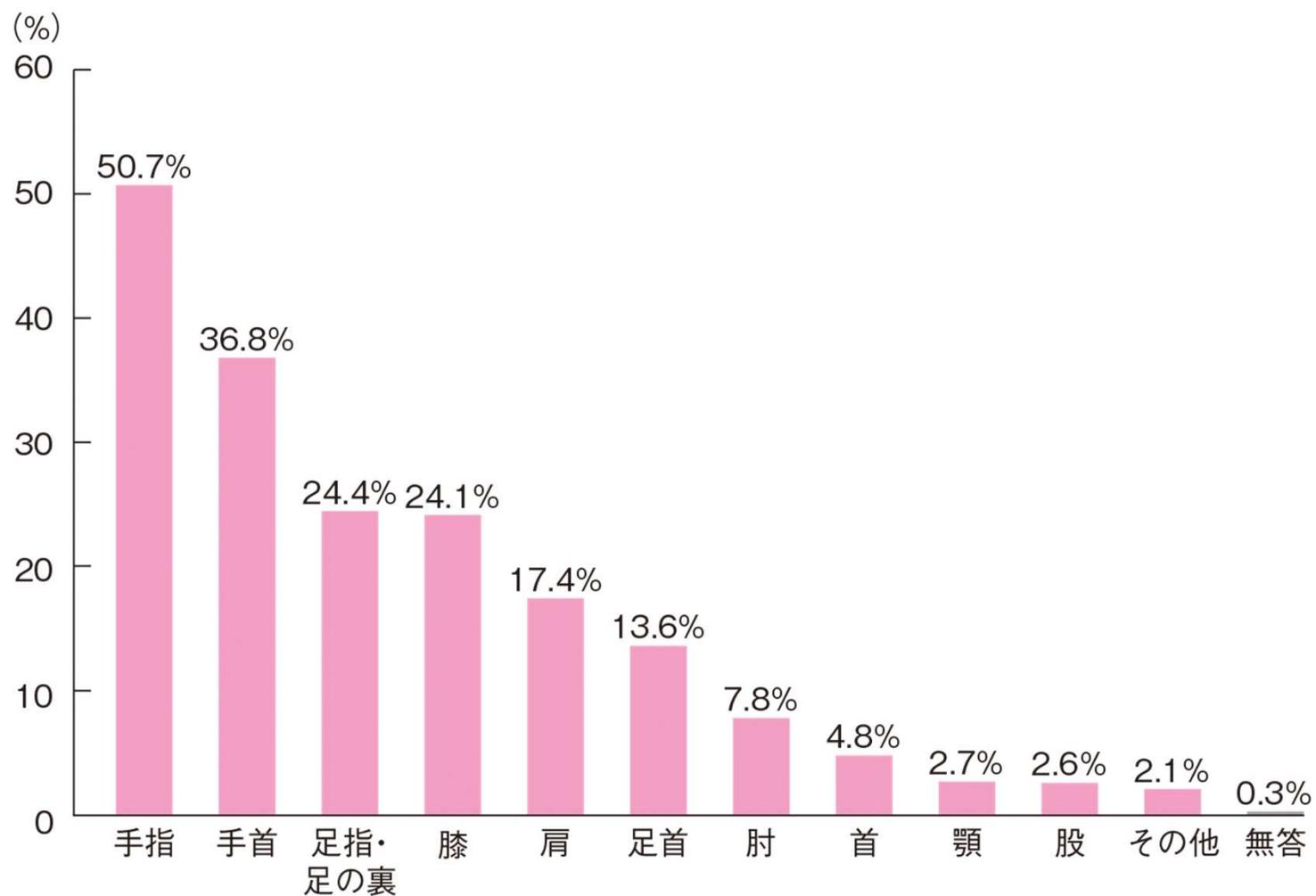
女性：男性の比は4：1といわれているが友の会会員は9：1



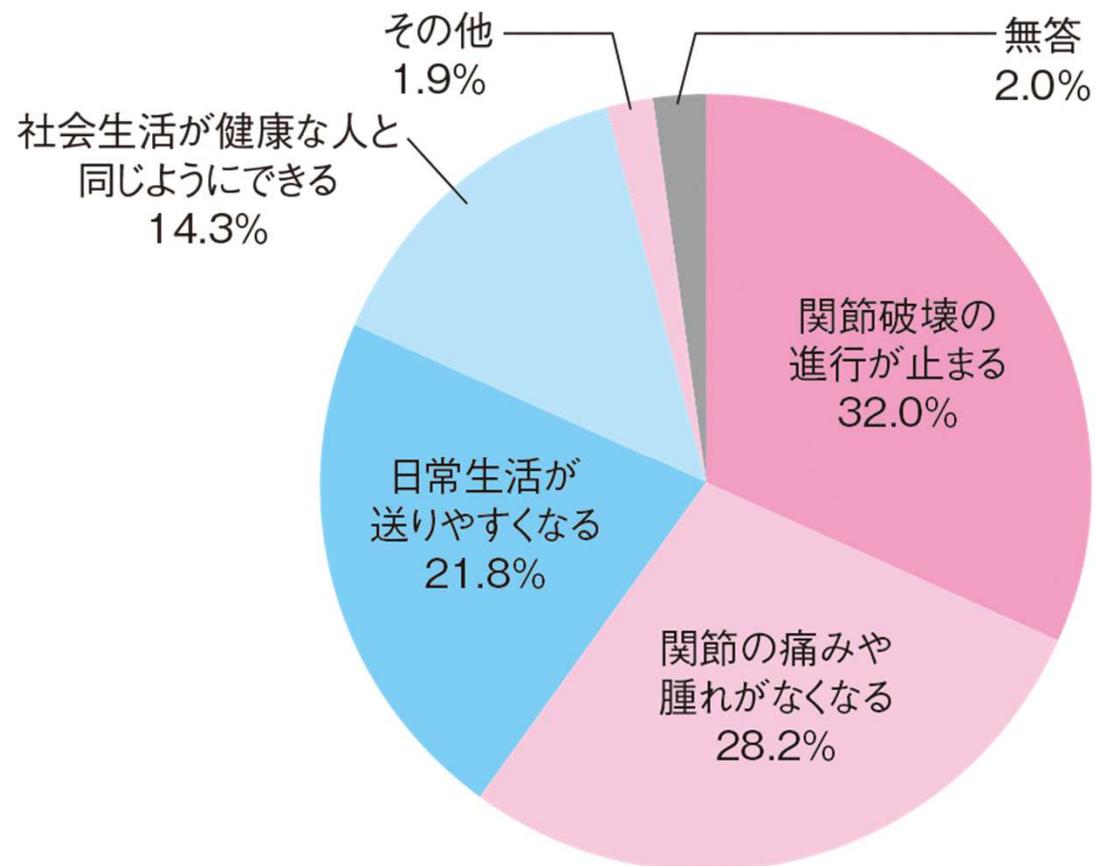
リウマチと診断された年齢



最初に痛くなった関節



治療に一番期待すること



公益社団法人 日本リウマチ友の会の概要

設 立	1960年5月 設立 1970年 社団法人認可 2012年4月 公益社団法人
会の目的	リウマチに関する正しい知識を広め、リウマチ対策の確立と推進を図り、リウマチ性疾患を有する者の福祉の向上に寄与すること。
会 員	約8,000人、10～80歳代 構成：関節リウマチ・悪性関節リウマチ・若年性突発性関節炎などの患者、家族、リウマチ専門医、医療関係者、ボランティアなど。
活動地域	全国
関係団体	日本リウマチ学会、日本リウマチ財団、日本障害者協議会、障害関係団体連絡協議会、JDA(障害者の差別の禁止・解消を推進する全国ネットワーク)、共用品推進機構、患者の声協議会 他



機関誌『流』をお届けします

最新の医療情報や知っておきたい制度、会員の体験などが載っています



全国大会・医療講演会・支部行事

全国大会は全国各地で順番に開催しています。
全国の支部では医療講演会・相談会や懇親会などを行っています。

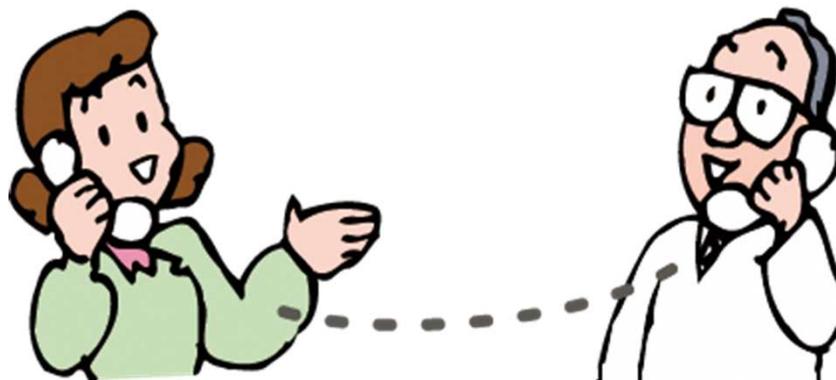


全国大会風景



専門医による医療相談をしています

質問に詳しくお答えします。(会員のみ)
電話相談／毎月1回



公益社団法人 日本リウマチ友の会 鳥取支部の紹介

- 大会開催・支部総会(東・中・西部)
- 支部報の発行(年2回)
- 医療療養講演会・相談会開催
- 写真スライド展示(療養講演会時 同時開催)
- 自助具展(療養講演会時 同時開催)
- 交流会(「ルピナスの会」等)



「医療療養講演会・相談会」



支部報
「“流”鳥取だより」
(年2回発行)

SSK
流
ながれ

鳥取だより 22号
鳥取支部創立30周年記念号

2019年3月



公益社団法人
日本リウマチ友の会 鳥取支部





日本リウマチ友の会は

リウマチ患者の心強い支えとなります

～おわり～

